

新型コロナウイルスへの対応

学修機会の確保と、感染対策を両立するための工夫

手洗いや咳エチケット、換気といった基本的な感染症対策を講じることに加え、感染拡大のリスクが高い 3 つの密（換気の悪い密閉空間、多数が集まる密集場所、近距離での会話や発話が生じる密接場面）を徹底的に避けるなど、「新しい生活様式」の実践に留意していただきつつ、学生が納得できる学修機会を確保するための取り組みを講じています。

<感染対策を講じた対面授業の実施>

▽学生や教職員等に対して毎朝検温をはじめとする健康観察をし、『行動・健康観察票』に記録するよう求めます。

▽発熱等の風邪の症状がある場合においては登学せず休養するよう求めます。

▽構内に入る者に対して手洗いの励行、マスクの着用など感染症対策のための行動について周知・啓発を行います。

▽不特定多数の者が触れる場所（ドアノブやエレベータのボタン等）に対する消毒の実施や、手指を消毒するための学内への消毒液の設置など、接触による感染の拡大を防止するために必要な措置を講じます。

▽消毒の実施に当たって、学内清掃を業務委託している業者に対して、必要な消毒についても併せて依頼し、机や椅子、共用PCのキーボード等について、使用した学生が自主的にふき取りを行えるよう、除菌シートを確保します。

▽遠隔授業の際に多くの学生の利用が考えられる日下記念マルチメディア館3・4階のPC教室に新たにパーテーションを整備しました。昨年度後期よりも多くの学生が利用できるようになります。

▽教室単位に消毒液、除菌シートを配置しています。▽教室等において授業を行う際、当該教室が 3 つの密に陥ることのないよう、換気を徹底することや、席配置の工夫により教室内の密度を下げる工夫を行っています。具体的には、一度に教室を利用する学生の数を本来の収容定員の半分程度までに制限し、着席不可の席をステッカー等で明示することや、机同士の距離を離して配置することといった取組を講じています。

<感染対策を講じた窓口業務の実施>

▽学生が訪れる機会が多い学生支援部署ではカウンターにアクリル板を設置し、飛沫拡散の防止対策を行っているほか、サーキュレーターで室内を換気する等、感染防止策を講じたうえで学生対応を行っています。